法政大学教職課程センター

多摩だより

★第 39 号★ 2020 年 1 月 17 日発行
法政大学教職課程センター多摩相談室
総合棟1F・食堂横ガラス張り奥の部屋
（月～金）10:00～18:00
相談員在室日：月・水・木

昨年 12 月 13 日（金）、教職課程センター多摩相談室企画として、今年採用試験に合格された 4 人の学生の皆さんからお話を頂く「合格者の話を聞く会」、そして杉山敏夫先生（東京都公立小学校・中学校特別支援教室専門員）による「特別講義～子どもを見る目を広げようー共感的理解と受容～」が開催されました。当日は 1 年生から 4 年生まで多くの方にご参加いただき、とても有意義な会となりました。ご参加頂きました皆さん、ありがとうございました！！当日ご参加された方の感想をいくつかご紹介いたします☆

---**「合格者の話を聞く会」への感想**---

◆【経済学部現代ビジネス学科３年】

合格者の話を聞く会に参加して良かったと感じました。その理由がいくつかあります。１つ目は、先輩の勉強時間や勉強を始める時期等を知ることができたことです。自分は勉強を始めた時期が遅かったと思っています。しかし、合格者の先輩方は２月から始めたということで、今から教職課程センターを利用して勉強していることをプラスに捉えることができました。自分は人２倍、３倍…努力しないと目標に届かない人間であることを理解しているので、今の内から量と質にこだわっていきたいと思っています。

２つ目は、勉強の仕方や内容について詳しく聞くことができたことです。Ａさんが社会科の教員として来年度から働くということなので、分からないことを全て聞きました。彼女が１つ１つ丁寧に何をしたら良いか明確に伝えてくださいましたし、彼女の人間性や熱意から刺激を受けました。すごく貴重な時間となり、「教師になるためには努力した人が勝ちである」ことを改めて私自身に感じさせてくれた彼女に感謝しています。来年の10 月に自分が笑えるように必死になって勉強する覚悟でいます。

◆【経済学部現代ビジネス学科３年】

まず、お話して下さった４人の方にはとても感謝しています。実際に合格された方の覚悟や、具体的な試験についてのお話は貴重でしたし、ここからもっと頑張らなければと自分を鼓舞する材料になりました。その後の質疑応答の場で、教材や実際の試験について細かく質問ができたことも非常に良かったです。これから頑張れば可能性はあるという希望を持てた一方、危機感も多く募りました。この会を機に自分の勉強の一つの励みとして取り組んでいきます。

---**「特別講義～子どもを見る目を広げようー共感的理解と受容～」への感想**
講師：杉山敏夫先生（東京都公立小学校・中学校特別支援教室専門員）---

◆【スポーツ健康学部スポーツ健康学科４年】

子供達に対して一対一でいかに向き合ってあげられるかがとても重要なのだなと感じました。来年度から僕も教員として働きます。高等学校教員の希望ですが、特別支援学校での勤務になる可能性もあります。そこで今回聞かせていただいたことを活かせられればなと思います。ありがとうございました!!

◆【スポーツ健康学部スポーツ健康学科４年】

私は通信制の学校で働くということで杉山先生のお話はとても参考になりました。通信制は心に何か問題を抱えている生徒や普通学校になじめなかった生徒など多種多様な生徒がいます。そのような生徒たちにどのようにアプローチをかけていけばいいのか不安なことも多くありますが、杉山先生のお話を聞いて生徒にまっすぐ向き合っていけば心を開いてくれる時がきっと来ると信じて頑張っていきたいと思いました。

◆【スポーツ健康学部スポーツ健康学科３年】

僕が杉山先生の話を聞き終えて１番最初に感じたのはこの人はなんて優しさに溢れているのだろう、でした。特別支援学級を教えていく上でこの優しさはかけがえのないものであり、子供たちに寄り添っていく上で１番大切だと感じました。教師として重要なことを教えていただきとても感謝しています。

◎教職相談の申し込み、質問はこちらへ

★窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。①氏名 ②学部学科 ③学年 ④学生証番号 ⑤面談希望時間(第 3 希望まで)⑥相談内容 ⑦メールアドレス(ＰＣから受信可能なもの)を必ず記入してください。

＊宛先： kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp

※ 教職履修に関わる質問は、所属学部窓口へお願い致します。